

道徳科研究紀要



I 研究の全体構想

学校教育目標

①かしこく

進んで学ぶ子
自ら考え、判断し行動できる

②ねばりづよく

心身共に健やかな子
たくましく生きる子

③こころゆたかな子

相手を思いやる優しい心
社会性・心豊かな子

学び伸びる かねこの子 育成

【研究主題】 こころゆたかな かねこの子 育成

～考えよう よりよく生きるために～

柱1 「授業の充実」

- (1) 授業の質的改善①：子供が考え活躍する授業（主体的・対話的で深い学び）
- (2) 授業の質的改善②：丁寧でわかりやすい指導（ユニバーサルデザイン化）

柱2 「日常活動の充実」

- (1) 教育活動全体で取り組む道徳教育
- (2) 心を育てる環境づくり

柱3 「家庭との連携充実」

- (1) 保護者への啓発



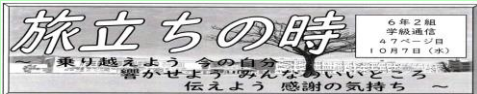
けやきそびえる

入間市立金子小学校

柱3 「家庭との連携充実」

(1) 保護者への啓発

① 学年・学級だよりを通じた情報提供



自分は自分、人は人
みなさんは、赤塚不二夫さんの作品「天才バカボン」を知っていますか？
この作品に谷川俊太郎さんが詩を寄せたことがあります。
語り手は、バカボンのパパ。詩には自分の中にすむもう一人の自分が登場します。
是非、お家に帰ったらじっくりと読んでください。

自分とふたりっきりで暮らすのだ。…（中略）

自分がにこにこすれば
自分も嬉しくなっていくにこにするのだ。
自分が怒ると自分はこわくなるので
すぐに自分と仲直りするのだ。
自分とはとても傷つきやすいから
自分は自分に優しくするのだ。
自分は自分が好きでたまらない。
自分のためなら生命も惜しくない。
それほど自分はすばらしいのだ。

クラスの一人一人がオンリーワンです。
人間、得意なことがあれば、不得意なこともあります。
でもそれでいいんです。
私にだって得意不得意はあります。
自分のいいところを認める。
そして、友達の良いところを認める。
そんな人を見てほしいと思って紹介します。

② 授業参観・学校公開日における道徳科授業公開 （家庭での実践に期待した道徳科授業）



③ PTA行事への協力・参加 （学校の教育活動に対する支援・協力）



PTA全校除草作業

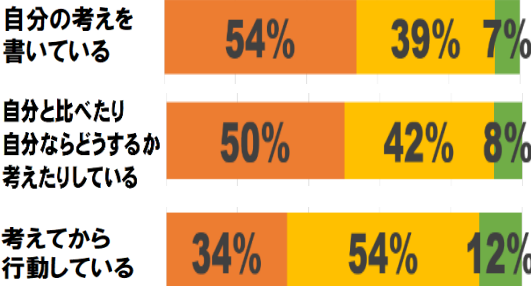
PTA資源回収

Ⅲ 成果と課題

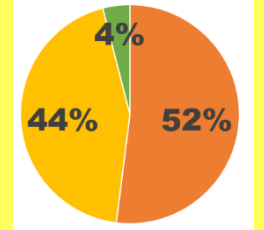
【10月実施 全校児童アンケート】

■いつでもできる ■ときどきできる ■あまりできない

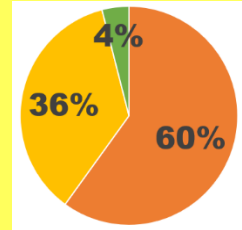
< 道徳科の授業の成果 >



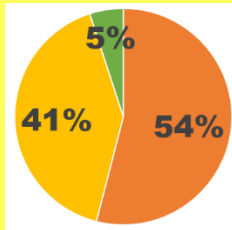
かしこい子
授業に集中し、しっかり学習する。自分で考え、行動できる。



ねばりづよい子
進んで運動したり、何事も最後までやりぬいたりする。



こころゆたかな子
相手を思いやる優しい心。きまりや約束を守る。



< 成果と今後の課題 > (○成果 ●今後の課題)

- 授業のスタンダードや道徳ノート「こころノート」の活用が、児童に考え、議論させる上で効果的であった。
- 道徳科の授業改善が確実に進み、考え、議論する道徳へ近づいた。
（自分の考えをもつ、友達の考えと比べてみる、自分ならどうするかを考える等）
- 道徳科の研究は、教師や児童の意識改善へとつながると共に、学校教育目標達成上有効であり、心豊かな児童育成へとつながった。
- 児童の多面的・多角的な思考に向け、指導法の追究が一層必要である。

柱1 「授業の充実」

(1) 授業の質的改善①：子供が考え活躍する授業（主体的・対話的で深い学び）

① 発達段階に応じた指導の要点とねらいの設定

< 授業づくりの仕方 >

- ① 「内容項目の概要」と各学年の「指導の要点」の把握（指導観）
- ② これまでの学習状況及び児童の実態の把握（児童観）
- ③ 教材の特質の把握・活用方法の検討（教材観）
- ④ 主題・ねらいの設定
- ⑤ 学習過程の設定

② 「金子の道徳」（金子道徳スタンダード）を活用した授業づくり

< 3つの要素を意識した授業づくり >

- ・登場人物への自我関与が中心の学習
- ・問題解決的な学習
- ・道徳的行為に関する体験的な学習

< 各学習過程のポイント >

【導入】

問題意識をもつ時間
(アンケートの活用、教材への関心づけ等)

【考える】

価値について、自分の考えを深める時間

【振り返る】

道徳的価値について「今までの自分」を振り返り、「これからの自分」を考える時間

< 多面的・多角的に考えるための工夫 >

- ・考えたくなる問いを投げかける。
- ・受容→切り返す問い、揺さぶる問いで考えを深める。
- ・対話活動で様々な考えに触れる。
(教師、友達、主人公、自分との対話)
- ・思考ツールの活用
(心情円盤、帽子、座標軸、名札、付箋紙、ホワイトボード等)

③ 道徳ノート「こころノート」の活用

～ふいかえる～

よくかんがえられましたか。10 〇 Δ

かんがえをともだちにつたえられましたか。10 〇 Δ

ともだちのほっぴょうをしっかりときましたか。10 〇 Δ

各学年の道徳コーナ



「金子の道徳」

考え、議論する道徳のため

段階(時間)	指導	留意点
導入 内容項目の確認 (5分)	・本時の内容項目を押さえる。 ・アンケート結果やニュース、画像等を活用し、興味を持たせたり、問題意識を高めたりする。 【発問例】 「今日の道徳の学習では〇〇について考えます。」 「先日のアンケート結果はこうなりました。」	【指導上8つのポイント①】 はじめの1分で引き込む(視覚化) (驚き、喜び、意外性、図、写真、音、物など) 【指導上8つのポイント②】 価値への方向付けで焦点化 (フラッシュカード、短い言葉で、印象的に) ※しっかり板書する。
考える (25分) 教材文の範読	・教師による教材文の範読 ※全文通読するのが基本 ※教師の意図で場面を区切るの也可。	【指導上8つのポイント③】 範読前に条件・状況のおさ (主人公に十分共感させる。挿絵を活用し、要領よく端的に行う。続きが知りたいと思わせる工夫を。) 【指導上8つのポイント④】 範読勝負 (一度の読みで心に響かせる。問(ま)の技。)
展開前段	【多面的・多角的に考えるための発問】 ・(主人公)は、どのような気持ちだろうか。 ・(主人公)がそうしたのはなぜだろう。 ・(主人公)がしたこととどう思うか。 ・～のとき、自分だったらどうするか。 ・もし～だったらどうか。 ・この出来事によってどのように変わったか。 ・それってどういうこと。何て思うの。 (共感的な場面発問) (行為を支える動機を問う分析的な発問) (批判的で本質を変える発問) (投影的で対象軸を変える発問) (条件軸を変える発問) (時間軸を変える発問) (児童の発言を深く掘り下げる発問)	【指導上8つのポイント⑤】 共感の発問で、人間の弱さにふれさせる (葛藤への伏線。マイナスの面の心を引き出す。) 【指導上8つのポイント⑥】 葛藤の発問で心をゆさぶる (道徳は気づきの学習。プラスの考えをマイナスの子に聞かせて価値の変容を図る。児童の曖昧な表現や言葉の価値観を「見える化」する。) ・問い返ししたり、ゆさぶりの発問を投げかけたりするなど、共感で終わらず、問い続ける。 ・発表は意図的に指名し共有化・焦点化する。 ・児童の発表は、価値にそって精選して板書する。(構造化)
展開後段	※基本発問は3つまで。 (主発問を含む) ※主発問は・・・ 「ねらいとする価値を深く追求させる発問」。 時間を十分確保して、「こころノート」を活用する。	【指導上8つのポイント⑦】 自己を見つめさせる時間を (振り返りやすい手立てを。) ・「君ならどうする？」等の発問で、自我関与へ。 ・本音を言っても責められない学級づくり(授業の基盤は学級経営)
終末	【振り返る】 (12分) 自分の行動を振り返り、考える。 (8分) 振り返りを発表し合う (4分) 教師の説話等 (3分)	【指導上8つのポイント⑧】 終末は余韻を持たせて (価値を押しつけない。)

金子小学校 こころノート

～考えよう よりよく生きるために～

金子小学校 こころノート

～考えよう よりよく生きるために～

年 組 名 前 ()

日ごろ考えたことや、感じたことや、気付いたことを、書きとめておきましょう。

～自分のこと～

9/14 サッカーでプレーに集中していてチームメイトに強く言てはまった。友達のことを考え直した。

10/13 転校生がやっていた転校生にだけではない、誰にでも、友達にも差別はよくない。でもこの学校は差別が無いと気付いた。

10/26 「友とトラブル」で自分もそういう体験をしていた時ひいひいしてはまったので次からは、やさしく心広くいて待てるようにしたいです。

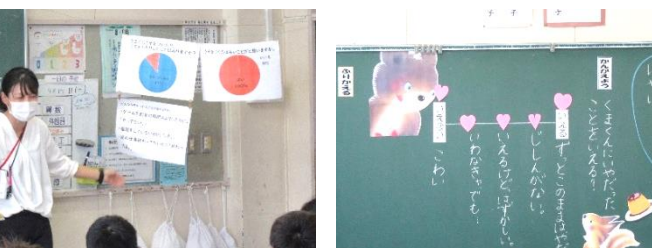
(2) 授業の質的改善②：丁寧でわかりやすい指導（ユニバーサルデザイン化）

① 落ち着いた環境づくり



刺激量の調整（黒板周辺）

② ユニバーサルデザインにもとづく授業づくり



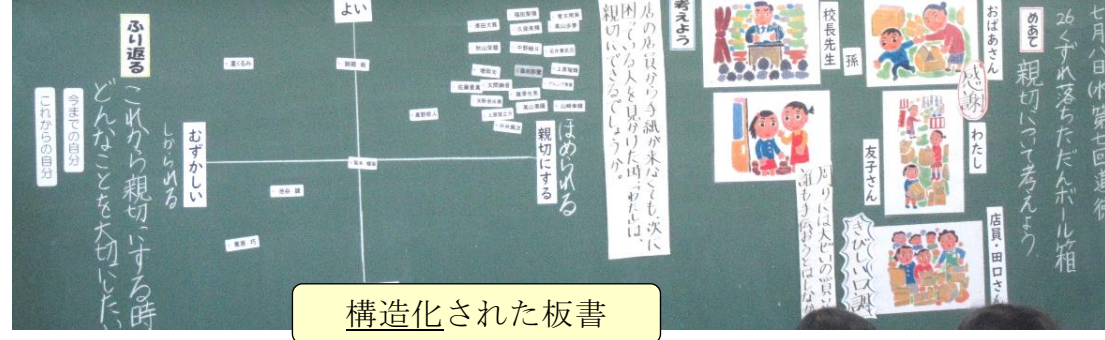
視覚化を重視した提示の工夫：写真、絵、実物

「主人公は何と何で迷っていますか。」(限定発問)、「〇〇の場面の前と後では、どう違いますか。」(関連発問)、「〇〇さんの考えについて、どう思いますか。」(考えを広げる発問) 等

児童の考えを焦点化する発問



ペア、グループ、全体での共有



構造化された板書

柱2 「日常活動の充実」

(1) 教育活動全体で取り組む道徳教育



あいさつ運動・あいさつの木

いいとこミッケの木

くつそろえ

(2) 心を育てる環境づくり

～命について～

命の大切さを考える日の講話集会 感想

それほど命が大事なことが分かります。命は大切で一つしかなくて一度しかつかえない。た一つで大事な物です。お母さんとお父さんいさずかった世界一大事は命はみんな持っている世界の人々はお母さん。

人権標語

講話集会（命について）

無言清掃